

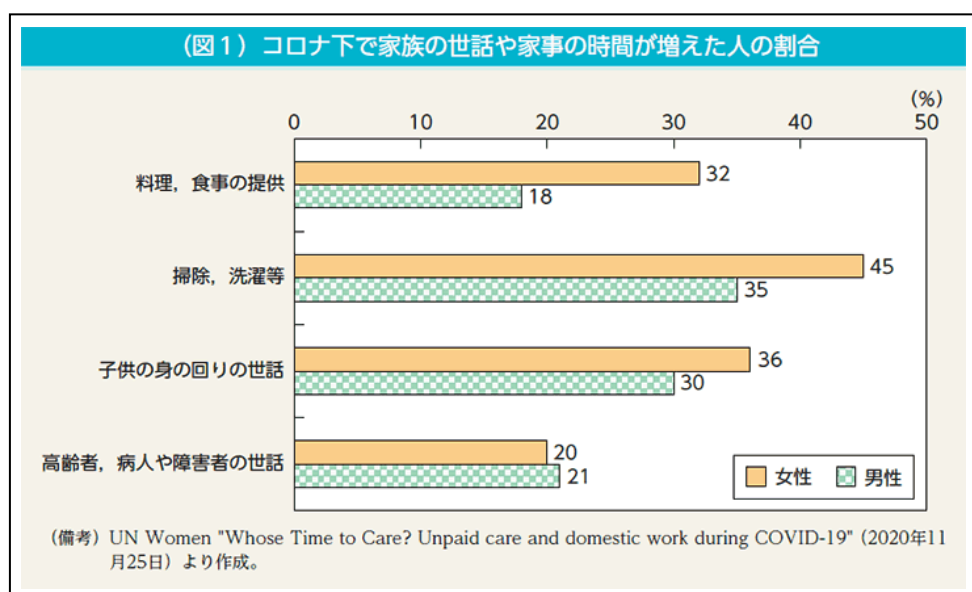
男女共同参画社会をつくる ～男女共同参画に関するQ&A～

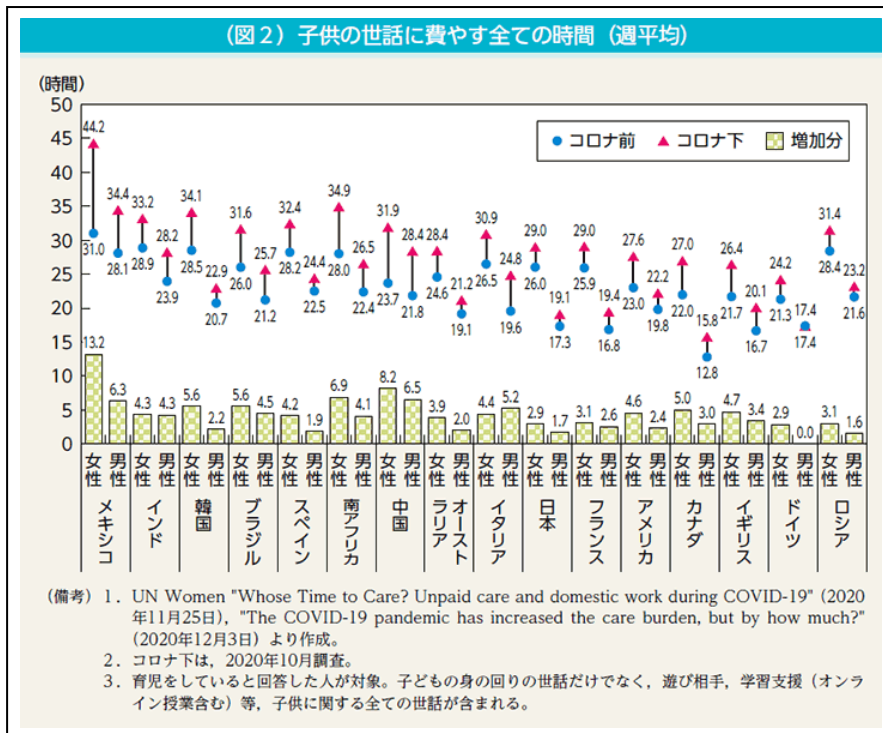
Q 8 6 コロナ下で女性の家事・育児の時間が増えたのは、日本だけにみられる現象でしょうか。世界の他の国はどうでしょうか。教えてください。

A 8 6 ①コロナ下で女性の家事・育児の時間増加は世界共通です。

UN Women（国連女性機関）が令和2（2020）年11月のまとめによると、新型コロナウイルス感染症が拡大する前、世界各国・地域において、女性は男性の約3倍もの時間を家事等に費やしていました。一方、コロナ下では、外出自粛による在宅時間の増加等に伴い、男女ともに家事等の時間が増えました。しかし男女間の不均衡は改善されず、依然としてその多くを女性が担っています。

家事等に費やす時間が増えたと回答した女性は60%、男性は54%であり、その大変さが増したと回答した女性は28%、男性は16%に上りました。特に女性は、料理・食事の提供、掃除・洗濯等、子どもの世話で費やす時間が増えたと回答した割合が高いです（図1・図2）。





UN Womenは、世界中の多くの女性が、仕事や収入源の維持と、増加する家事等への対応の二重の負担に直面しています。各国・地域の政府は具体的な政策措置による支援として、保育環境の整備、柔軟な働き方の推進、学校休校等に伴う雇用面の支援措置、女性に対する経済支援等を実施すべきであるとしています。

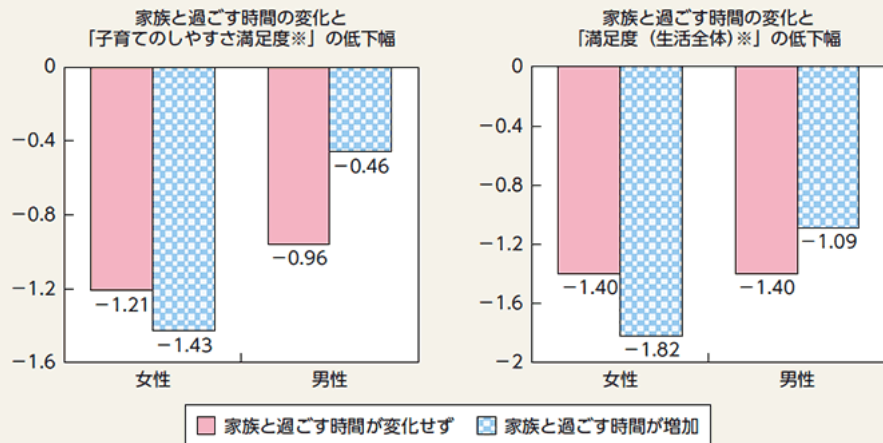
②家族と過ごす時間の変化と子育てのしやすさや生活全体の満足度の関係

家族と過ごす時間の変化と、子育てのしやすさや生活全体の満足度の関係を見ると男女で異なる結果が見られます。

男性の場合は家族と過ごす時間が増加した方が「子育てのしやすさ満足度」、「満足度(生活全体)」の低下幅が小さい一方、女性の場合は家族と過ごす時間が増加した方が「子育てのしやすさ満足度」、「満足度(生活全体)」の低下幅が大きいことが分かりました。

新型コロナの感染拡大の性別による影響の違いを踏まえていく必要があることをしっかり理解することが大切です (I-特-44図)。

I-特-44図 家族と過ごす時間の変化と「子育てのしやすさ満足度」・「満足度（生活全体）」の変化



(備考) 1. 内閣府「満足度・生活の質に関する調査」に関する第4次報告書より引用・作成。
 2. 令和2（2020）年9月11日公表。
 ※「感染症拡大前」と「感染症影響下」の子育てのしやすさ満足度、満足度（生活全体）を数値化したもの。

資料出所 令和3年版 男女共同参画白書